

二だん目の 式も 自分で 書こう

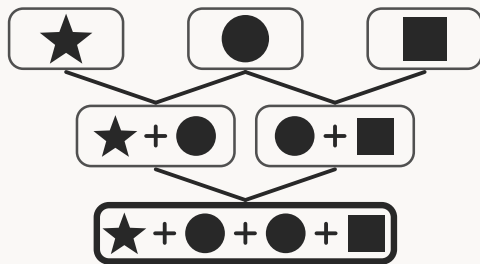
しるしの 式を 書いてから かぞえよう

なまえ _____

ひづけ _____

- ・ ぶどう算:上から 下へ、となりあう 2つの ますを たして、2つの 間の 下の ますに 入れる
- ・ この 紙でも しるし(●▲■★)を 使う。上から 1だん目、2だん目、3だん目(一番下)
- ・ まず、2だん目の ますに、上の となりあう 2つの しるしを +で つないで 書く(●+▲ のように)
- ・ つぎに、一番下の ますは 書かない。2だん目の しるしを しゅるいごとに 数え、右の □に 書く
- ・ しるしの 形は ●丸 ▲三角 ■四角 ★星(ていねいで なくても よい)

れい



左の ます:上の 左と まんなかを +で つなぐ → ★+●

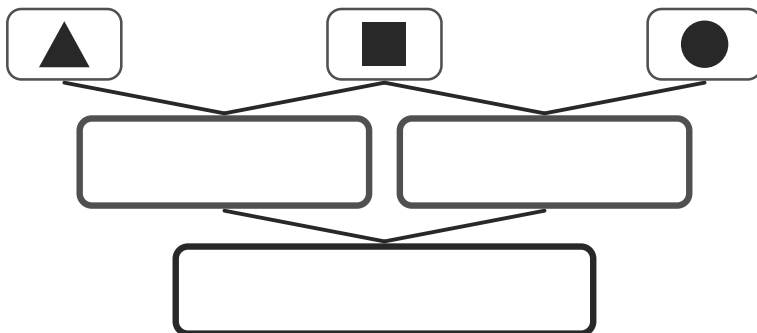
右の ます:上の まんなかと 右を +で つなぐ → ●+■

●は 上の まんなかなので、左にも 右にも 出てくる
一番下の しるしを 数える:

●が 2こ、■が 1こ、★が 1こ

まんなかの しるしを 2回 書くのを わすれない

(1) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう

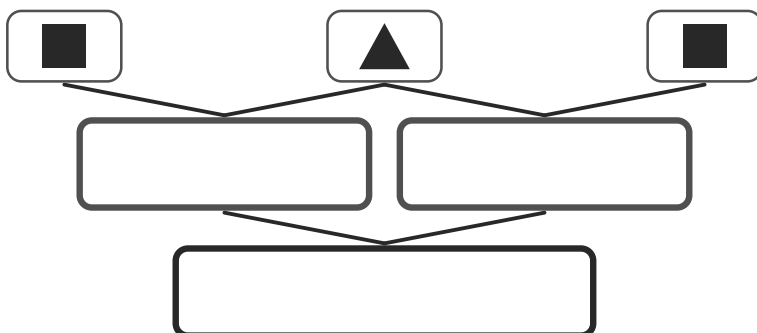


● が こ

▲ が こ

■ が こ

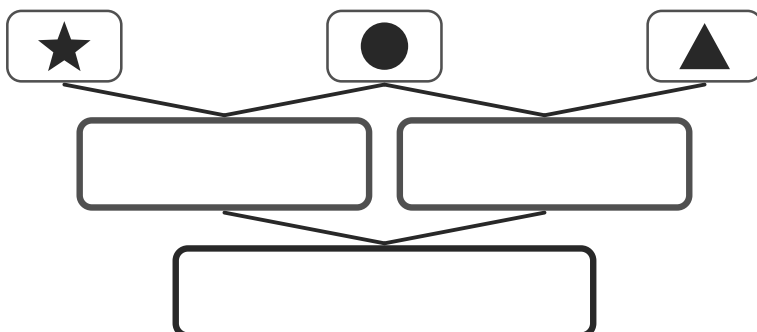
(2) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう



▲ が こ

■ が こ

(3) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう



● が こ

▲ が こ

★ が こ



二だん目の 式も 自分で 書こう【こたえ】

しるしの 式を 書いてから かぞえよう

なまえ _____

ひづけ _____

おうちの方へ

しるしの 式を 書く 練習です。左の ますは「上の 左+まんなか」、右の ますは「上の まんなか+右」。上の まんなかの しるしが 2回 出ることが ねらいです。

よく ある まちがい：1つ ずれた 組（上の 左と 右 など）を 書く。+の 前後の 順は どちらでも ○ です。

声かけの 例：「▲ から 下へ 線は 何本 出ている？ 2つの ますに入るね」

形が 分かって、こ数が 合えば ○ です（一番下の ますの 赤い しるしは 手がかり）。

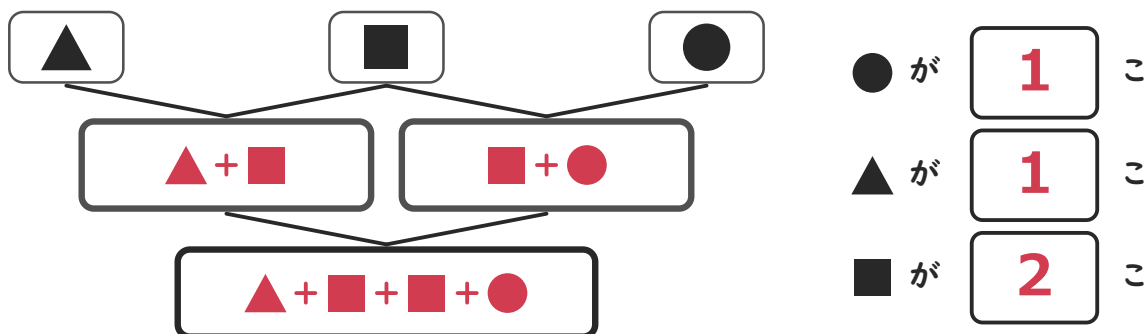
考え方（なぜ そうなるか）

(1) 2だん目は ▲+■ と ■+●。■は 上の まんなかなので、左の ますにも 右の ますにも 出てくる
一番下の こ数は ● 1 ▲ 1 ■ 2（ぜんぶで 4こ）

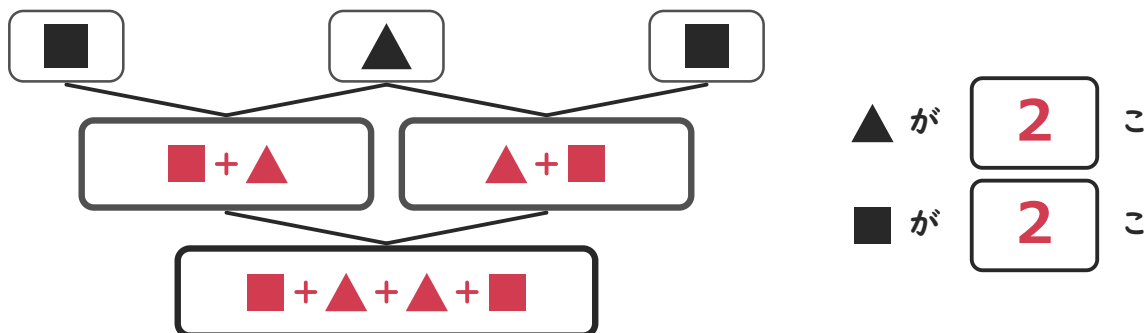
(2) 2だん目は ■+▲ と ▲+■。▲は 上の まんなかなので、左の ますにも 右の ますにも 出てくる
一番下の こ数は ▲ 2 ■ 2（ぜんぶで 4こ）

(3) 2だん目は ★+● と ●+▲。●は 上の まんなかなので、左の ますにも 右の ますにも 出てくる
一番下の こ数は ● 2 ▲ 1 ★ 1（ぜんぶで 4こ）

(1) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう



(2) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう



(3) 2だん目の ますに 式を 書いて、一番下の しるしの こ数を 右に 書こう

